

田んぼダムの取り組み

宮城県では、近年、頻発化・激甚化する水災害に備えるため、流域のあらゆる関係者が協働して被害を軽減させる「流域治水」を進めています。その対策のひとつとして、水田の持つ雨水貯留機能を最大限に活用し、下流の市街地や河川等への雨水流出を抑制する「田んぼダム」の取組が注目されています。

令和6年度新規採択地区の農地整備事業「古宿地区」及び「米川地区」では、田んぼダム対応型の落水柵を設置し、田んぼダムとしての機能を持たせた整備を実施する予定です。また、昨年度は、地域の方々に田んぼダムを知っていただくため、登米市役所各総合支所等において、「田んぼダムパネル展」を開催しました。今後も「田んぼダム出前講座」を募集するなど啓蒙普及に務めていきます。



田んぼダムパネル展の様子

登米地域事務所管内土地改良区

